

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る

第5回まちづくり市民会議 結果概要

《日 時》 平成27年5月24日(日) 13時から15時まで

《場 所》 鴨川市役所4階大会議室

《テーマ》 ～地域のまちづくりのキーワード・将来像の提案～

《出席者数》 21名

○鴨川地域.....	5名
○天津小湊地域.....	5名
○江見地域.....	6名
○長狭地域.....	5名

《傍聴者数》 2名

1 開会

都市建設課長より、開会にあたってのあいさつを行いました。

2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、前回の振り返りと第5回の進め方を説明しました。

3 各地域の現状説明

各地域の人口・世帯推移や市民意向調査結果から、地域ごとの現況や住民意向の違いなどを説明しました。

4 ワールドカフェ ～それぞれの地域の強み・弱みを考えよう～

ワールドカフェ方式（3ラウンド）で、各地域の具体的な強み・弱みについて意見交換しました。

【1ラウンド目】 自分の担当地域の強み・弱みを検討

担当地域のまちづくりを進めていくうえでの強み・弱みについて、意見やキーワードをふせんに書き出し、メンバーで共有する作業を行いました。



＜鴨川地域＞



＜天津小湊地域＞



＜江見地域＞



＜長狭地域＞

【2ラウンド目、3ラウンド目】 自分の担当地域以外の強み・弱みを検討

各地域のリーダーを残して他地域のテーブルに移動し、外から見た各地域の強み・弱みについて、意見やキーワードをふせんに書き出す作業を行いました。



＜鴨川地域＞



＜天津小湊地域＞



＜江見地域＞



＜長狭地域＞

5 グループワーク 地域のキーワード抽出

もとの地域のテーブルに戻り、ワールドカフェで他地域のメンバーから出された意見も参考としながら、これからの地域づくりにおいて、特に重要だと思うキーワードを5つ程度抽出しました。

6 将来像の提案

抽出されたキーワードを組み合わせ、各地域が目指すべきまちづくりの将来像について検討しました。



＜鴨川地域＞



＜天津小湊地域＞



＜江見地域＞



＜長狭地域＞

7 全体確認（発表）・閉会

各グループの代表者が検討成果を報告しました。ワールドカフェで検討した地域のキーワード、将来像は以下のようになります。



＜鴨川地域＞



＜天津小湊地域＞



＜江見地域＞



＜長狭地域＞

鴨川地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1 ラウンド	2 ラウンド	3 ラウンド
地域の強み	・専門学校、2 大学の設立によって、市外より学生が入っている ・鴨川シーワールド ・亀田グループ ・鴨川の大海原が続いている ・海、山での産物が豊かにある ・自然豊かな景観がコンパクトにまとまっている ・釣り ・景観 ・サーフィン ・鴨川のメイン玄関であり、JR 駅と海に繋がる地区 ・星が綺麗 ・海と山のバランスが良く、海と山の素晴らしさを目で見て体で感じることでできる ・コンパクト	・鴨川シーワールドがある ・鴨川シーワールドのお土産グッズにも力を入れてきている ・鴨川のコシヒカリ、野菜 ・スーパー等のお店の多さ（2） ・夏はイベントが多い（シーフェスタ等） ・医療と介護が充実している ・日本を代表する亀田病院がある	・行政の中心地 ・ビーチとマリーナ ・耕地整備の進んだ広い圃場 ・医療 ・買い物の中心地で生活に便利 ・若い人は大型店が好きなので若い人が集まる ・鴨川を中心となる資源設備の共有を一番期待できる
地域の弱み	・高速道路が必要 ・交通問題 ・おもてなしのイメージがない ・観光施設に通じる道が少ない ・リゾートの気分になれない ・大災害に対しての意識と備え ・学生が地域を楽しむ場面（意識）が少ない ・観光案内所としての拠点ターミナル化するべき（お客様を迎えるおもてなし対応）	・観光施設での駐車場の整備が出来ておらず道路渋滞に繋がっている ・外から入ってきた人がコミュニティに入りづらい ・観光産業について、努力していない（2） ・働ける場所が少ない ・アピール力が弱い ・フラワーセンターの魅力が低下している ・新しいものがない ・渋滞が多い ・東条海岸の砂がどんどん減っている ・前原海岸側の観光施設の整備	・商店街がシャッター化していてさみしい（3） ・東京、千葉へのバス、鉄道のターミナル ・公共の駐車場が少ない ・鴨川地域で1つのテーマをもったまちづくりが必要。現在は駅周辺や海沿いがそれぞれにテーマを持っており、バラバラの印象 ・スーパーなど大きな店が多すぎて個人の店が寂しい ・お年寄りのお買いもの ・企業誘致促進化

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す

キーワード	コンパクト、バランス、調和	活かす	賑わい
	癒し	ゆとり	向上
将来像	調和のとれた自然を活かし 賑わいのあるいやしとゆとりのまち		
理由	○ キーワードとして「コンパクト」、「バランス」、「調和」が出たがこれは自然に関する内容を表現しており、海が見えたり山があったりと、色々な自然環境のバランスが良いという点で「調和のとれた自然」とした。 ○ この「調和のとれた自然」を「活かし」て、「賑わい」を生み出していきたいと考えた。 ○ 自然からくる「癒し」、交通の便等における「ゆとり」があるような、ゆったりとしたまちを目指したいと考え、このキャッチフレーズを提案した。		

天津小湊地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1 ラウンド	2 ラウンド	3 ラウンド
地域の強み	・海洋資源 ・森林資源 ・自然豊かで、海や山がある ・自然豊かであるので観光に力を入れるべき ・誕生寺や清澄寺等があり、宗教的資源が多いので利用できる（２） ・ホテルが多いので、協力して環境を整えれば強みとなる ・地元愛が強く、戻ってくる若者がいる ・地元消費意識が高い ・人口減少で若い人が少ないが老人が頑張れる	・四季ごとに楽しみがある ・地域内にいろいろな環境がある ・気候が温暖 ・海岸沿いの風景が素晴らしい（２） ・清澄寺、誕生寺等、日蓮の歴史がある ・日蓮宗の大本山がある ・気候が温暖 ・住民がのんびりしていて、居心地が良い	・TBS お天気カメラがあり、鴨川の海を放映してくれている ・地域の団結力が強い ・日蓮の歴史がある ・人も気候も暖かいイメージ ・観光に対してストーリー性がないと成功しないが、天津小湊にはあるので、今後考えるべき
地域の弱み	・マンパワー不足 ・地域コミュニティの衰退 ・空き家が多く、再利用を考えるべき ・人口減少により町に人がいなくなって静か ・各観光施設の駐車場の整備ができていない ・観光施設が昔のままで変わっていない。観光に新しいアイデアが必要な時期 ・日帰りの人が多いので、宿泊してもらうために市からの特典やサービスポイント等工夫が必要 ・ホテル、飲食店の料金が安い ・内浦湾の砂浜の砂が少なくなっている ・有害獣が多すぎる（猿、鹿、猪） ・ヒル、ダニがたくさんいる ・耕作放棄地が多い ・狭隘道路が多い ・都心からの交通アクセスが悪い ・誕生寺周辺の道路整備が進んでいない ・がけ崩れ箇所の整備が進んでいない	・大本山を活かしきれていない ・住民がのんびりしていて、もっとよくなるうという意識が低いように感じる	・TBS お天気カメラがあるが、江の島に負けている ・地域のしがらみが強い ・海岸線にごみが多い ・誕生寺や清澄寺等、歴史のある地区として一体的に宣伝するべき ・日蓮のPR が少ない ・参拝客が少ない ・名物が少ない（赤福のような） ・漁業に関して、アピールしていない

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す

天津小湊地域 ～「地域のキーワード」「将来像」のまとめ～

キーワード	観光	歴史 (宗教、日蓮ブランド)	産業
	自然 (山と海、豊かな自然)	元気	地元愛
将来像	“太陽と月” 自然と歴史物語のある街		
理由	○ 天津小湊地域は、第一に「観光」がメインになると思う。誕生寺や清澄寺、海や山、海岸等をはじめ、ホテルも多いので、まず「観光」でまちを作っていかなければいけない。 ○ 天津小湊地域では、清澄寺等といった日蓮の「歴史」があり、鴨川の中でも特に歴史ある地域である。観光と産業が成功するにはストーリー性がないとだめだと思うが、歴史ある天津小湊はストーリーを生み出す可能性が高い。また、海も山もあって「自然」も豊かである。 ○ 地域のお年寄りが元気だという点で「元気」もキーワードに入れた。お年寄りが元気だと若者もがんばれると思う。 ○ 天津小湊は「地元愛」が非常に強いと感じており、他の地域に負けないものであると考えた。 ○ これらのキーワードを含めて考えた将来像で、「太陽と月」は海岸線沿いから見え、これは「観光」「自然」に関わるものである。		

江見地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1 ラウンド	2 ラウンド	3 ラウンド
地域の強み	・海、山等があり、自然豊か（4） ・海や山等の観光資源を共有できれば強みになる ・日の出、夕焼け、星空が綺麗 ・海岸線を有しており、温暖で景観も良い ・林道 ・国道の景観 ・マリンスポーツ ・磯遊び ・絵になる風景がある ・時間の流れをゆっくりに感じることが出来る場所 ・城西国際大学 ・道の駅 ・鴨川の中でも特に気候が温暖である	・温暖な気候 ・農業 ・園芸、花 ・別荘、景勝地に適している ・曾呂地区を中心に棚田の里 ・温暖 ・新たな景色の可能性（熱帯植物） ・海と里山の両方を味わえる地区 ・フラワーセンターをもっと楽しい観光施設にできれば良い ・自然、食材が豊かで、観光に適している ・夏みかんや金柑等の果実が豊富にある ・お米がおいしい ・団結力が強い	・オーシャンパークの足湯 ・曾呂地区の山にはカブト虫やクワガタが多いので、民宿などでPRできれば観光資源になるのではないかと ・景勝地 ・仁右衛門島 ・松島 ・漁港 ・海岸
地域の弱み	・東京や千葉市へのアクセスが悪い ・道路整備が必要 ・過疎化 ・買い物や、病院へ行く際の交通手段が頼りない（3） ・国道からの素晴らしい景観を味わう場所（駐車場）がない ・自然の保全、共生の方法を考えていくべき ・行政からの距離感 ・田畑が荒れている ・有害鳥獣 ・農業（花）を守っていくことが出来ない ・人口流出（年寄りが多い） ・高齢化	・自然環境が素晴らしいのにもかかわらず、滞在し満喫するための宿泊施設が少ない ・自然と食（特に魚）を活かして観光客の滞在につなげることはできないか ・PR 不足（3） ・散歩時のトイレがない ・オーシャンパークは汚いイメージ、もっと魅力的にするべき（2） ・老人が多い ・耕作者が少なく、せっかくの資源を利用できていない ・耕作放棄地が目立つ	・民宿が多くあるがあまり知られていない ・住みやすい場所であるが、アパートが少ない ・景勝地へ行くための整備（駐車場） ・景勝地や海岸（松島）等観光施設があるにも関わらず、駐車場が少なくアクセスが悪い ・バーベキューできる場所があるというのをもっとPRするべき ・ハイキングコースの素晴らしさをPR出来ていない ・仁右衛門島は観光地としてのやる気を感じない

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す

江見地域 ～「地域のキーワード」「将来像」のまとめ～

キーワード	海、磯、里山	歴史、学、国際交流	あたたかい、住みやすい
	移住、住みたくなる	魅力	交通
将来像	自然豊かな海・山が魅力 国際交流がある住みたくなるあたたかいまち		
理由	○ 江見地域は南側全てが海であり、その反対側が山という構成になっている。海と山の2つがまちづくりを進めていく上で大きなポイントになってくると考え、キーワードとして「海」、「里山」を挙げた。しかし「海」といっても抽象的なので、岩場が多いというのが一つの江見地域の特徴になるため、「磯」もキーワードとして挙げた。 ○ 「歴史」に関して、仁右衛門島は相当な知名度があるという点で「歴史」の柱になると考えられる。 ○ 江見地域には城西国際大学が立地しているため、「国際交流」もこの地域の大きな一つのキーワードになってくると考えた。 ○ 江見地域は「あたたかい」（温暖）ので「住みやすい」。自然豊かであることも活かして、外部の住民から「移住」したいと思ってもらえるような「住みたくなる」まちを目指したいと考えた。 ○ それらを含めて「魅力」のあるまちが江見だという点で「魅力」もキーワードとして考えた。		

長狭地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1 ラウンド	2 ラウンド	3 ラウンド
地域の強み	・長狭米 ・有名な千枚田 ・グリーンツーリズム ・ロードバイクでサイクリングする人が増えた ・里山の自然景観（2） ・森林がたくさんある ・野菜、米がおいしい	・人が優しい ・奉仕の精神を持っている ・国保病院が地域に密着している ・医療重要度が高い ・伊八 ・大山寺 ・日本一のジャンボかぼちゃ ・長狭米ブランド ・みんなみの里 ・産業化 ・不動尊の修繕事業の様子を観光客に見せる	・大災害時の防災拠点に ・長狭米はこだわり、食通の形容詞 ・みんなみの里の野菜の安さ ・みんなみの里で、地元の物を使った料理 ・食に関して、宝の山
地域の弱み	・鳥獣害 ・高齢者の買い物、通院が不便 ・市内への交通の便が悪い ・働く所が少ない ・農業を守っていかなければならないが、後継者不足問題がある（2） ・若者減少により、消防団員が不足 ・人口減少	・山の中へのアクセスが悪い ・長狭街道について、今どこを走っているのか分かりづらい ・集落が点在しているため交通が不便 ・後継者不足 ・山林が整備できていない ・産業として農業が心配 ・廃校の再利用	・大山千枚田の場所が分かりにくい ・業者が良い野菜を買いあさっている

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す

長狭地域 ～「地域のキーワード」「将来像」のまとめ～

キーワード	地域伝統文化 (かっこ舞、やぶさめ、大山不動尊等)	長狭米をブランド米へ 美味しい農産物の長狭平野	緑豊かな里山が広がる長狭地域
	都会からの移住者	若者が住みやすいまち	災害に強い (防災センター設置)
将来像	伝統と豊かな食と自然が生きる 人情あふれる安全なまち		
理由	○ 長狭地域の大山不動尊ややぶさめといった伝統文化を「伝統」、長狭米に代表される食べ物や里山の自然を「豊かな食と自然」と表現。 ○ 農村地域は人情味にあふれており、都会からの移住者も増えていることから、暮らしやすい地域ということを「人情あふれる」と表現。 ○ これから災害が起きたとき、海から離れたこの地域が防災拠点という位置づけになれば良いという思いを込めて「安全なまち」と表現。		

配布資料

(1) 第5回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム

(2) 参加者名簿(地域別)

(3) 地域別の状況

(4) 第4回鴨川市まちづくり市民会議結果概要

※(4)については、市ホームページ掲載上省略

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に係る 第5回鴨川市まちづくり市民会議のプログラム

日時：平成27年5月24日（日）

13:00～15:00

場所：鴨川市役所4階大会議室

《テーマ》

～地域のまちづくりのキーワード・将来像の提案～

① 開会あいさつ

② ワークショップの進め方の説明

- ・ 第4回の振り返りと第5回会議の進め方を説明します。

③ 各地域の現状説明

- ・ 4地域の人口や世帯数の推移、まちづくりアンケート調査結果、市民意向などを説明します。



④ 地域別ワールド・カフェ

- ・ ワールド・カフェ方式で、各地域の具体的な強み・弱みについて意見交換を行います。

【ラウンド①】地域の強み・弱みを考えよう(15分)

- ・ まずは、ご自分の地域のテーブルで、第4回会議で作成したお宝・課題マップを踏まえながら、地域の強み・弱みを付箋紙に記入してください。

【ラウンド②③】地域の強み・弱みを考えよう(各15分)

- ・ 各地域のリーダー以外は、別の地域のテーブルへ移動し、地域の強み・弱みを付箋紙に記入してください。

⑤ グループワーク 地域のキーワードの抽出と将来像の提案(35分)

- ・ ワールド・カフェでの意見を参考に、これからの地域のまちづくりにおいて、特に重要だと思うキーワードを5つ程度抽出します。
- ・ 抽出したキーワードを組み合わせて、都市計画マスタープランの地域別構想で掲げる、地域の将来像（キャッチフレーズ）を提案します。

⑥ 全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、全体で意見を共有します。

⑦ 閉会

【ワークショップのルール】

- ・ 自分の主張ばかりせず、相手の話を聞きましょう。
- ・ 人の意見を否定しないようにしましょう。
- ・ 相手の意見のいいところを見つけましょう。
- ・ 進行役の言うことをしっかりと聞きましょう。
- ・ テーマにそった話をしましょう。
- ・ 楽しく、積極的に参加しましょう。



裏面へ続く（今年度の予定について）

平成 27 年度における「まちづくり市民会議」の予定

第4回 日時：平成27年4月26日（日）午後1時～午後3時

場所：鴨川市役所 4階大会議室

～地域の課題とお宝さがし～

※4つの地域（鴨川・天津小湊・江見・長狭）ごとにグループ分け

○平成27年度まちづくり市民会議の趣旨、進め方

○鴨川市都市計画マスタープランの概要

○ワークショップの進め方の説明

○地域の課題マップ・お宝マップの作成（地域の課題・地域資源の抽出）

○全体確認・まとめ



第5回 日時：平成27年5月24日（日）午後1時～午後3時

（今回）場所：鴨川市役所 4階大会議室

～地域のまちづくりのキーワード・将来像の提案～

○各地域の強み・弱みの検討

（ワールド・カフェ方式で行い、自分が居住する地域以外の地域の強み・弱みも検討）

○各地域の将来像やまちづくりの目標を表すキーワードの抽出（3～5つ程度）

○キーワードから地域が目指すべき将来像を示すキャッチフレーズの検討・提案



第6回 日時：平成27年6月27日（土）午後1時～午後3時

場所：鴨川市役所 4階大会議室

～将来像の実現に必要な取り組みの提案～

○第5回で設定した地域の将来像について、全体で意見交換

○将来像を実現するための地域づくりの具体的な取り組みの検討・提案



鴨川市総合計画・鴨川市都市計画マスタープランへの反映・策定

第5回鴨川市まちづくり市民会議 名簿(地域別)

(1) 鴨川地区

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	花山 藤太郎(はなやま とうたろう)	鴨川	鴨川市体育協会
2	高橋 由(たかはし ちなむ)	鴨川	鴨川不動産鑑定事務所
3	川名 慶子(かわな けいこ)	鴨川	一般社団法人鴨川青年会議所
4	佐竹 光雄(さたけ みつお)	鴨川	公募委員
5	村永 匠(むらなが たくみ)	西条	亀田医療大学(学生)
6	濱崎 順治(はまざき じゅんじ)	西条	鴨川市学校教育課
7	古橋 博子(ふるはし ひろこ)	田原	鴨川市みんなで育て鯛! まちづくり支援事業審査委員会
8	福山 鈴佳(ふくやま すずか)	田原	亀田医療大学(学生)

(2) 天津小湊地区

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	平野 義孝(ひらの よしたか)	小湊	公募委員
2	唐鎌 稔(からかま みのる)	天津	一般社団法人鴨川市観光協会
3	久根崎 克美(くねざき かつみ)	天津	公募委員
4	奈良 節子(なら せつこ)	天津	鴨川市食生活改善協議会
5	黒木 健一(くろき けんいち)	東条	鴨川ライオンズクラブ
6	高島 祐貴(たかしま ゆうき)	東条	一般社団法人鴨川青年会議所
7	黒川 洋子(くろかわ ようこ)	田原	鴨川市消防団(女性消防隊)

(3) 江見地区

(順不同・敬称略)

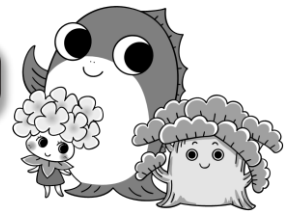
No.	氏 名	地区	備 考
1	飯島 眞澄(いじま ますみ)	江見	公募委員
2	樋口 洋子(ひぐち ひろこ)	江見	鴨川市商工会
3	草間 剛(くさま つよし)	江見	鴨川市文化協会
4	伊丹 一茂(いたみ かずしげ)	太海	一般社団法人鴨川市観光協会
5	羽鳥 航平(はとり こうへい)	曾呂	城西国際大学観光学部(学生)
6	畠山 秀行(はたけやま ひでゆき)	鴨川	一般社団法人千葉県建築士会安房支部青年委員会
7	田原 智之(たばら ともゆき)	西条	鴨川市漁業協同組合

(4) 長狭地区

(順不同・敬称略)

No.	氏 名	地区	備 考
1	石田 三示(いしだ みつじ)	大山	特定非営利活動法人大山千枚田保存会
2	高梨 陽市(たかなし よういち)	吉尾	鴨川市商工会
3	糟谷 英文(かすや ひでふみ)	吉尾	鴨川市酪農会
4	高梨 如美(たかなし ゆきみ)	大山	城西国際大学観光学部(学生)
5	栗原 博之(くりはら ひろゆき)	主基	主基地区社会福祉協議会
6	飯塚 和夫(いづか かずお)	西条	安房農業協同組合鴨川支店
7	高梨 道広(たかなし みちひろ)	田原	鴨川市ケアマネージャー連絡協議会
8	野村 久子(のむら ひさこ)	田原	公募委員

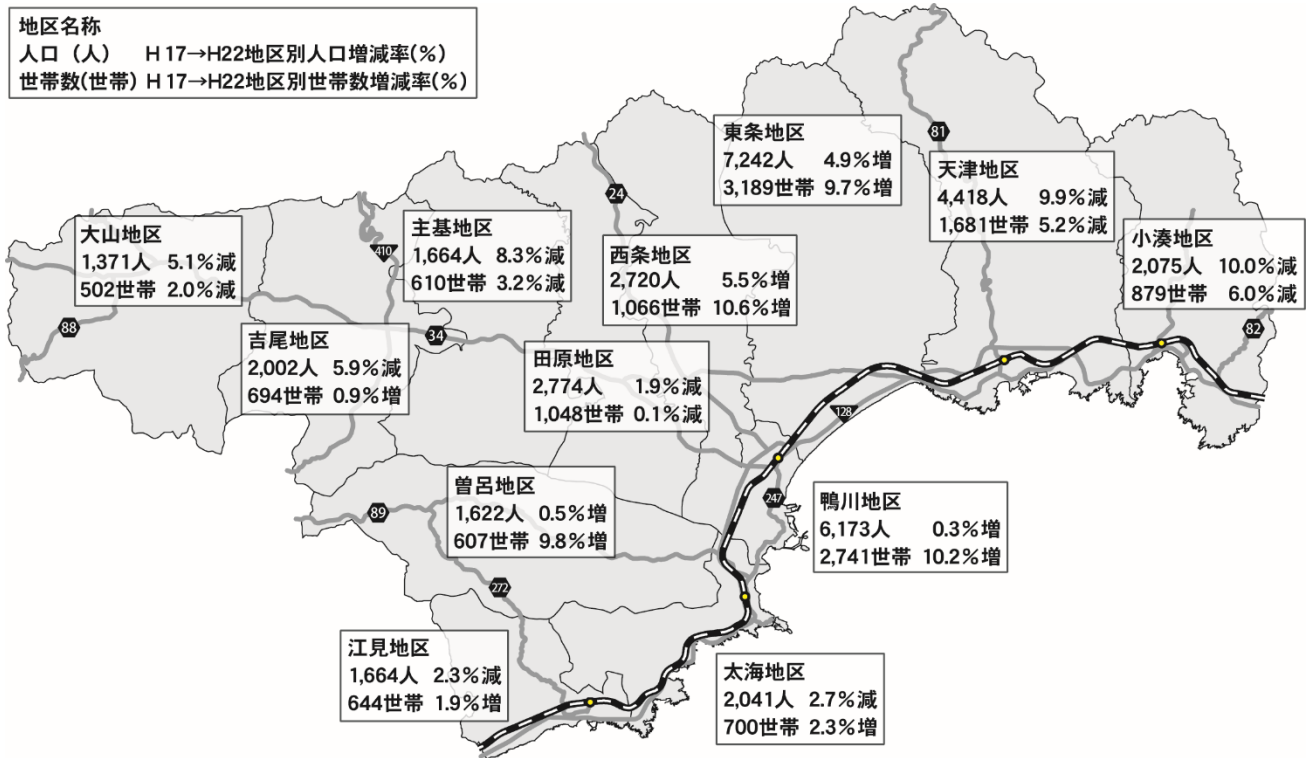
※ 各グループNo.1の方が「グループリーダー(進行役)」となります。



1. 人口・世帯数の推移（国勢調査より）

- 平成17年から22年の人口を比較すると、鴨川地域では未だ増加しているものの、それ以外の地域では減少となっている。
- 世帯数は、鴨川及び江見地域では増加、天津小湊及び長狭地域では減少傾向となっている。

【平成22年の地区別人口・世帯数と平成17年からの増減率】



【平成17・22年の地区別人口・世帯数データ】

地域	地区	H17		H22		H17→H22 人口増減数	H17→H22 世帯増減数
		人口	世帯数	人口	世帯数		
鴨川	田原	2,828	1,049	2,774	1,048	▲ 54	▲ 1
	西条	2,579	964	2,720	1,066	141	102
	東条	6,905	2,907	7,242	3,189	337	282
	鴨川	6,154	2,487	6,173	2,741	19	254
		18,466	7,407	18,909	8,044	443	637
天津小湊	小湊	2,306	935	2,075	879	▲ 231	▲ 56
	天津	4,902	1,774	4,418	1,681	▲ 484	▲ 93
		7,208	2,709	6,493	2,560	▲ 715	▲ 149
江見	江見	1,703	632	1,664	644	▲ 39	12
	曾呂	1,614	553	1,622	607	8	54
	太海	2,098	684	2,041	700	▲ 57	16
		5,415	1,869	5,327	1,951	▲ 88	82
長狭	大山	1,444	512	1,371	502	▲ 73	▲ 10
	吉尾	2,128	688	2,002	694	▲ 126	6
	主基	1,814	630	1,664	610	▲ 150	▲ 20
		5,386	1,830	5,037	1,806	▲ 349	▲ 24
鴨川市 計		36,475	13,815	35,766	14,361	▲ 709	546

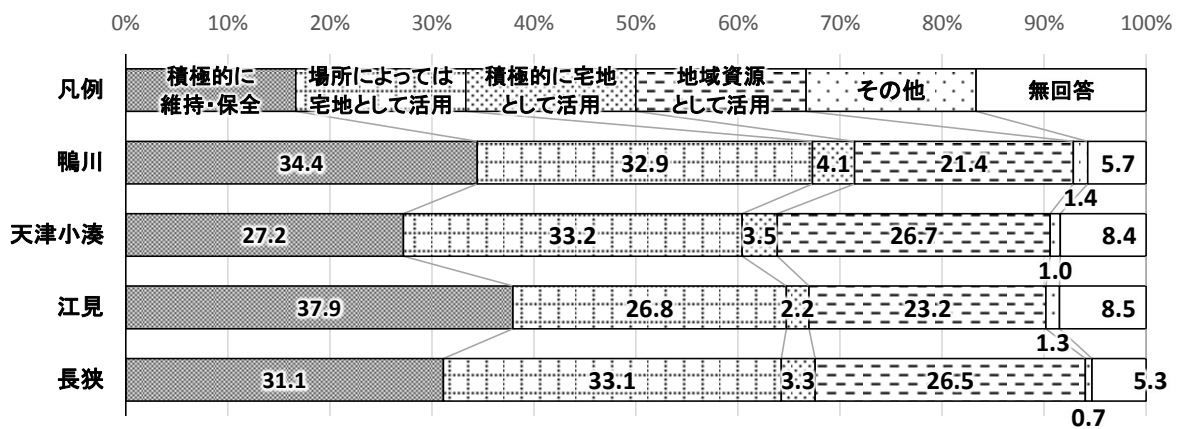
2. 平成 25 年度鴨川市まちづくりアンケート調査結果

平成 25 年 11～12 月にかけて市民のまちづくりに対する意識やニーズ把握のために実施したアンケート調査（鴨川市在住の 16 歳以上の市民 3,000 人を対象）の結果から、地域ごとに土地利用や施設整備のあり方、住み心地の満足度・重要度の関係性についてまとめました。

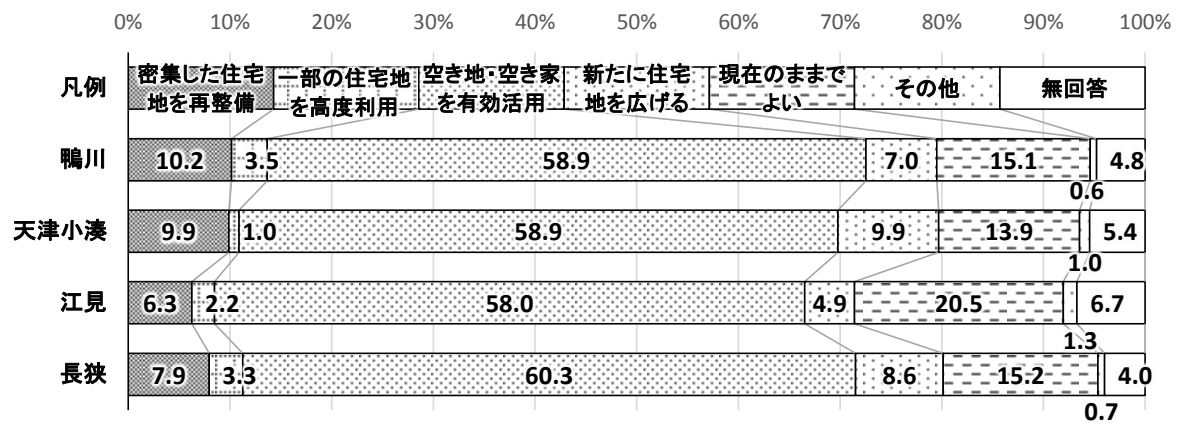
（１）今後の土地利用や施設整備のあり方について

- 鴨川地域では、駅周辺での拠点商業地や新たな観光地の形成を求める意向が高い。
- 天津小湊地域では、現状の観光及び漁業環境など、産業環境の拡充を求める意向が高い。
- 江見地域では、宅地化意向が他地域よりも低く、現状環境の維持・保全意向が高い。
- 長狭地域では、現状の維持・保全意向が高いものの、新たな工業地の形成意向も見られる。

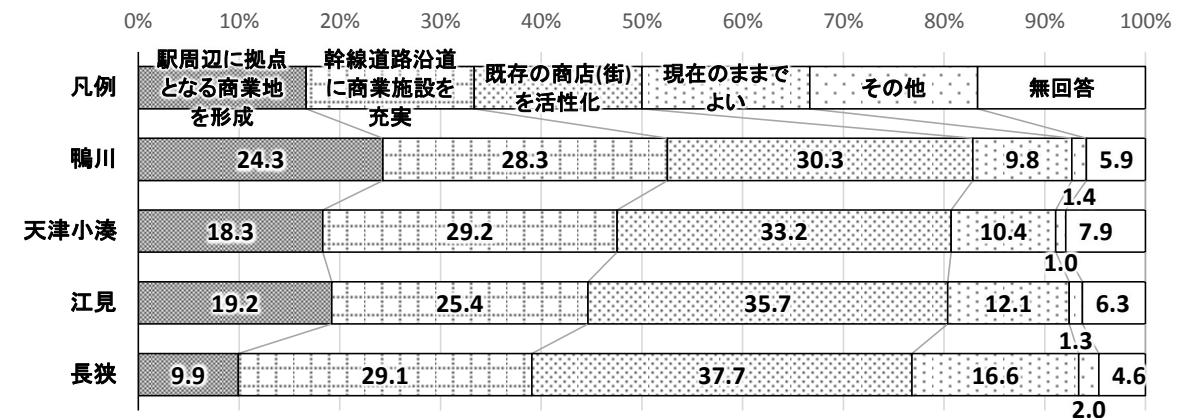
① 農地・山林



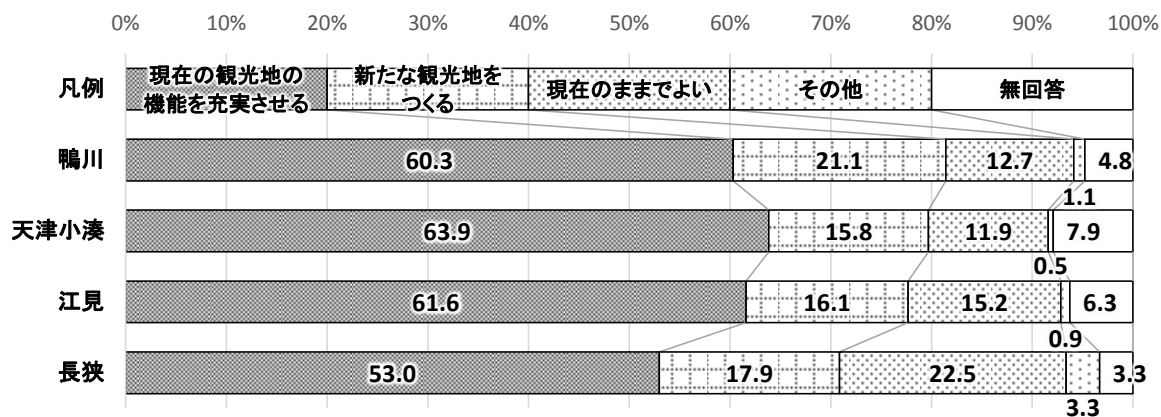
② 住宅地



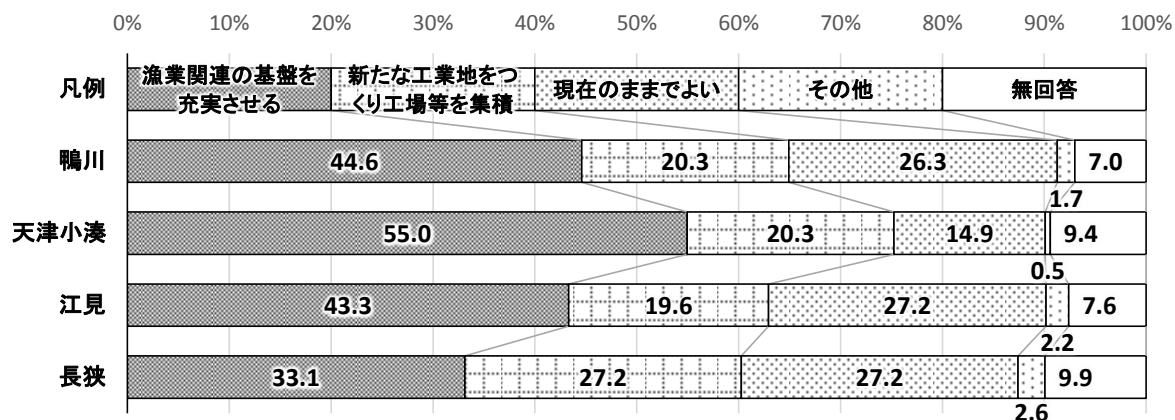
③ 商業地



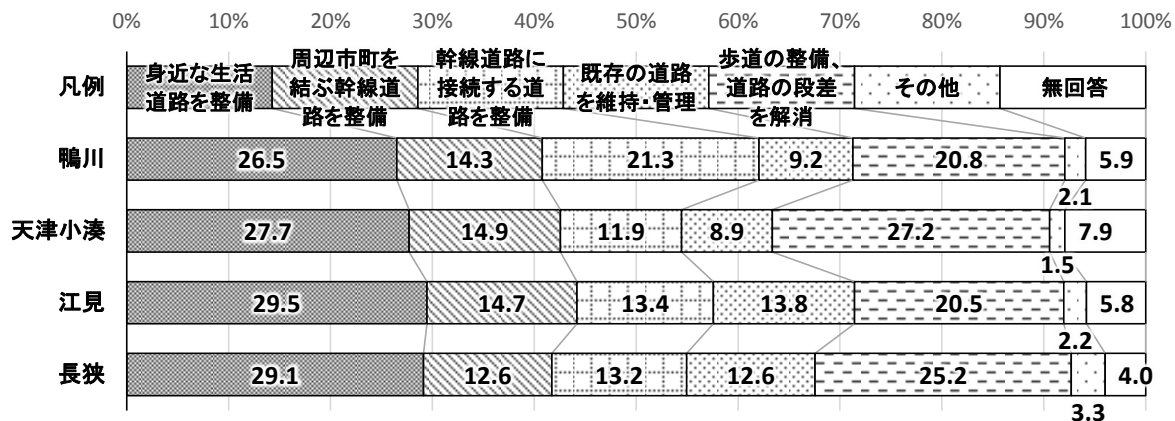
④ 観光地



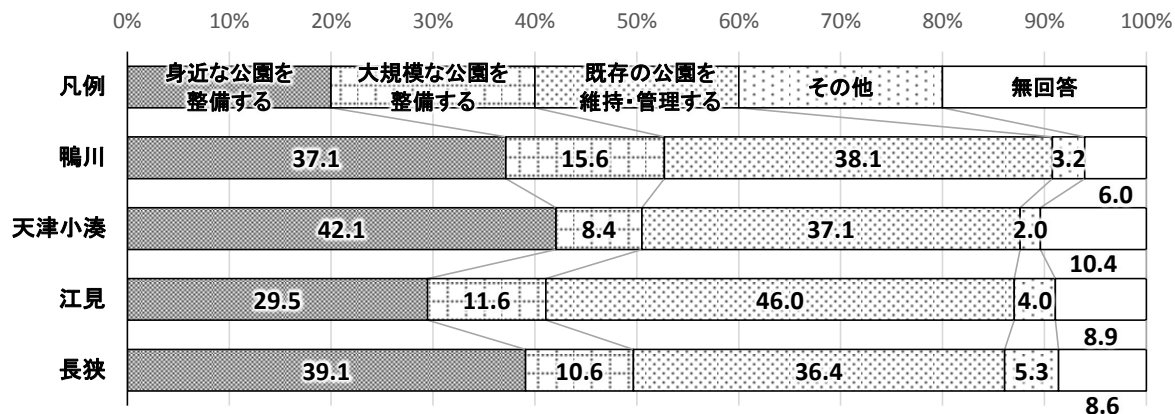
⑤ 工業地



⑥ 道路



⑦ 公園

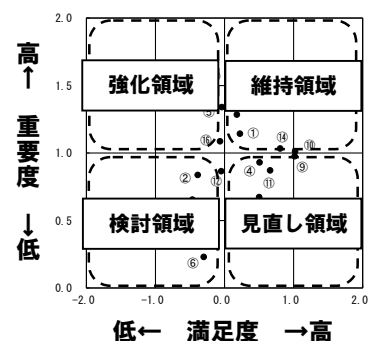


（２）地域の住み心地の満足度と今後のまちづくりにおける重要度の関係

【グラフの見方】

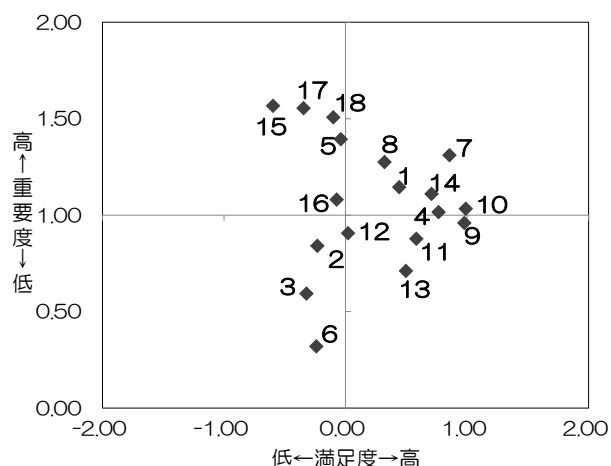
＜住み心地に関する項目＞

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ①通勤・通学の便利さ | ⑩自然景観の美しさ |
| ②鉄道の利用しやすさ | ⑪お住まいのまちの景観の美しさ |
| ③路線バスの利用しやすさ | ⑫お住まいの周辺の土地の使われ方 |
| ④高速バスの利用しやすさ | ⑬宅地の広さやゆとり |
| ⑤自動車の利用しやすさ | ⑭騒音などの公害の少なさ |
| ⑥公園の利用しやすさ | ⑮身近な道路の安全性 |
| ⑦病院などの医療施設への行きやすさ | ⑯公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ |
| ⑧買い物の便利さ | ⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性 |
| ⑨緑や水辺などの自然の豊かさ | ⑱まちの防犯対策 |

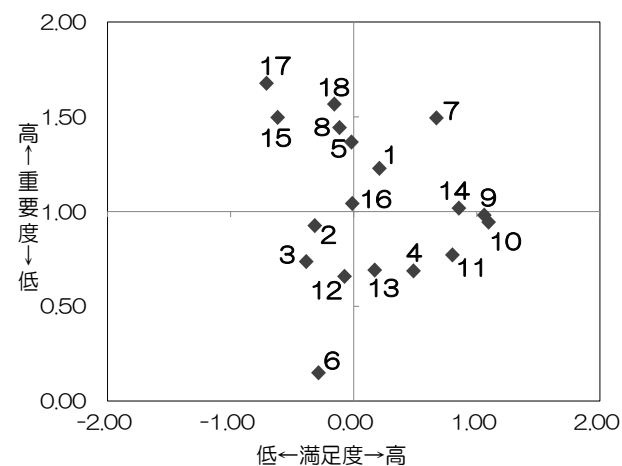


- 「⑦ 病院など医療施設への行きやすさ」は、全地域において満足度・重要度がともに高い『維持領域』に分布しており、引き続き、施策の維持・推進が求められる。
- 「⑮ 身近な道路の安全性」「⑰ 地震・水害などの自然災害に対する安全性」「⑱ まちの防犯対策」は、全地域において満足度が低く、重要度が高い『強化領域』に分布しており、今後の施策強化が求められている。

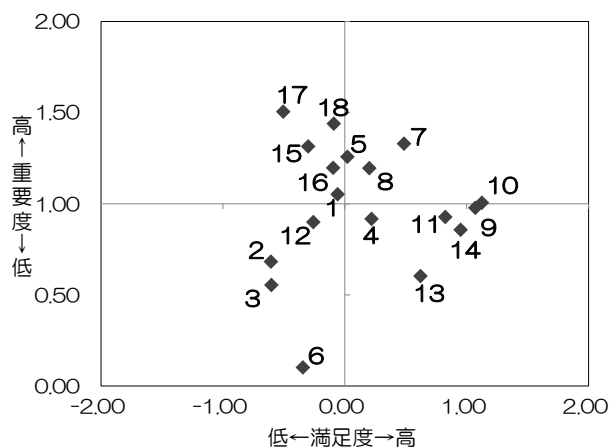
① 鴨川地域



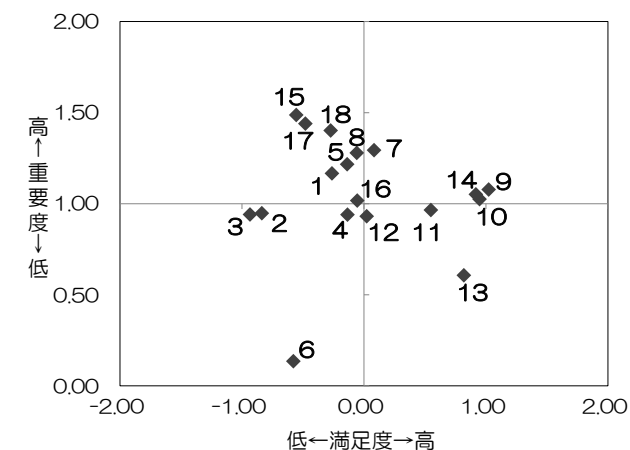
② 天津小湊地域



③ 江見地域



④ 長狭地域



3. 地区別懇談会の結果

平成 26 年 8 月に、市民のご意見・ご提案等を幅広く把握するために実施した地区別懇談会（市内 12 地区において開催）の結果から、各地域で多く出されたご意見・ご提案をまとめました。

（１）鴨川地域

施策	意見等の件数
国・県道など幹線道路網の整備促進	4
交通安全対策の推進 市道の整備（舗装・側溝整備・拡幅など） 学校教育の振興（施設整備を含む）	3
新たな会館施設の整備促進 農業の振興（生産基盤整備、担い手育成、有害鳥獣対策など） 学校教育の振興（施設整備を含む） 幼児教育の振興（施設整備を含む） 自然環境・景観の保全	2
その他	16

（２）天津小湊地域

施策	意見等の件数
自然災害に対する防災対策の充実（避難所・備蓄倉庫の整備など）	5
行財政運営の効率化及び健全化	3
市道の整備（舗装・側溝整備・拡幅など）	2
その他	11

（３）江見地域

施策	意見等の件数
小中学校の統廃合に伴う廃校など遊休施設の有効活用	4
自然災害に対する防災対策の充実（避難所・備蓄倉庫の整備など）	3
地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進 市道の整備（舗装・側溝整備・拡幅など） 公共交通の便の充実（鉄道、高速バス、市内路線バスなど） 交通安全対策の推進	2
その他	11

（４）長狭地域

施策	意見等の件数
市道の整備（舗装・側溝整備・拡幅など） 小中学校の統廃合に伴う廃校など遊休施設の有効活用	3
消防施設・設備の整備充実 自然環境・景観の保全 子育て支援施策の促進 公共交通の便の充実（鉄道、高速バス、市内路線バスなど）	2
その他	12

M E M O